

水口かずえと まちづくり市民こだいらニュース

No.14



小平市議会議員
水口かずえ



水口かずえとまちづくり市民こだいらの
ホームページ
<https://www.machidukuri-kodaira.org/>

@machikodaira @machikodaira

新しい年になり、議員も2期目の2年目となります。昨年は、一般質問でPFAS問題を2回取り上げました。自分たちが飲んでい
る水の安全性について市民の関心は高く、PFAS問題についての
学習会や意見交換会にも多く参加しました。今後も国や都、市に
実態解明と対策の実施を求めています。

玉川上水を分断する道路計画について、昨年は東京都が建設部
分の玉川上水緑道の地質調査を実施し、雑木林の樹木に健全度を
示す色テープを付けるなど、建設に向けての動きがあり、「小平の
玉川上水の自然が危ない」と題する3回の学習会に参加しました。
36m幅の道路で玉川上水を分断することは、動植物にも人間にも
影響が大きく、私の原点の活動として今年も取り組みます。



かずえ's VOICE

昨年10月、生活文教委員会で島根県に視
察に行きました。特に印象深かったのは雲南
市の不登校児童生徒等のための教育支援セ
ンター(おんせんキャンパス)です。

雲南市は人口36,000人、小中学校22校で
2,525人の児童生徒がいますが、2021年度
の不登校の児童生徒は89人で、小学校で
1.9%、中学校で6.2%の不登校率です。これ
は小平市の不登校率 1.6%と5.9%より若干
高い値です。

そのような背景から雲南市は2015年6月
に学校に行けなくなった子どもたちのため
の居場所として、旧温泉小学校に「おんせん
キャンパス」をオープンしました。運営は
NPOカタリバに委託し、基礎的な学力を身
につけるための学習支援や、規則正しい生
活習慣や人間関係の構築力を養う体験学習
プログラムなどを行っています。昨年度の利
用者は小学生17名、中学生43名、高校生以
上13名で、スタッフは7名だそうです。

おんせんキャンパスに入ると、まず子ども
たちが家で作った料理の写りが貼ってあ
りました。教室に貼られた今月の予定表を見
ると、学習活動の合間に、脱穀やボランティ
ア活動、収穫祭準備、ヨガ、ジョギング、合宿
調理計画などと書かれています。体験学習重
視で楽しそうです。体験を通して生きる力を
育くみながら、自分のペースで学べる場と
して参考になりました。



議会傍聴記

12月市議会での水口さんの一般質
問は大別して2問。1件目は、有機フッ
素化合物 (PFAS) 汚染について、特定
検診にPFASの血中濃度検査を追加で
きかないかなど。水口さんは、検査の追
加は特定検診の受診率を上げる効果も
あるのではないかなど、可能性を追求
する質問をしていました。

もう1件は災害救助事業の廃止につ
いて。市民生活に重大な影響を及ぼす
施策の改廃は、市民意見の聴取を経る
べきだと千葉県館山市の市民判定方式
の導入を提案していました。

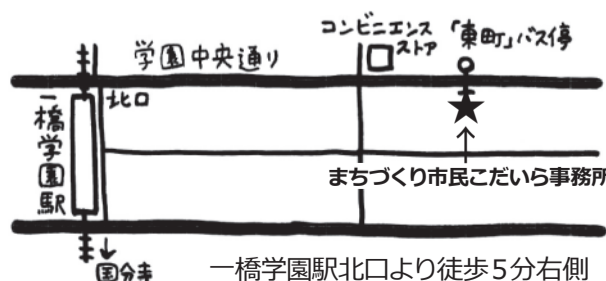
水口さんの質問は、総じて、市民が
望む施策を実現させるための道筋を、
行政側にも考えてほしいとの思いが伝
わって、口調は穏やかだが掘り下げた
質問をしていると感じました。



(めいばば)

事務所オープンしています！

平日午前10時から午後5時まで、事務所をオー
プンしています。気になることやご相談など、お
気軽にいらしてください。お電話やメールでもご
相談ください。



「まちづくりCafe」

水口かずえの
市政報告と意見交換会



日時: **2月23日(金・祝) 14:00~15:30**

オンラインと事務所にて対面で開催。
参加ご希望の方は、ご連絡ください。

発行・連絡先 **まちづくり市民こだいら**
〒187-0043小平市学園東町2-4-11 ハウス井上101
電話: **042-313-5108** (月~金 10:00-17:00)
メール: machidukurikodaira@gmail.com